



CTP絵本の取り組み方

教室では4冊を6週間かけて学んでいきます。
最後の2回のレッスンでは、ゴールチェック(発表)をします。
ゴールチェックの目標は、絵本を見ながら本読み(暗唱)です。
それが難しい場合はCDと一緒に歌います。



ご家庭での取り組み方

1日1回、もしくは隔日でCDを最初から最後までかけましょう。
(毎日聴いた方が学習は格段にラクになり、学習効率が良くなります。)
朝の身支度の時間や遊んでいる時のBGMとして聴いたり、
車の中、お風呂の中で聴くと時間を有効に使えます。

お子さんと一緒に絵本を開いて、絵本を楽しんでください。
英語の内容の絵を指さしたり、動作をしたりして内容理解につなげて下さい。
お子さんが説明を求めてこない限り、本文を日本語に訳す必要はありません。
絵に描かれているものや様子など、絵本の内容に関して、英語でも日本語でもいいので
親子で会話を楽しんで下さい。

CDを聴いているうちに覚えてしまうキャッチーなフレーズがあると思うので、
保護者様が率先して大きな声で歌って楽しんでください。
(保護者様の発音の良し悪しは気にしないで大丈夫です。
**大切なのは大好きなパパやママが英語を話す、英語で楽しんでいることであり、
親子で英語を通してあたたかく楽しい幸せな時間を過ごすことです。**
難しく考えなくて大丈夫なので、聞こえたままに真似して歌ってみて下さい。)

そのうちすぐにお子さんも部分的に歌い始めます。
ここで大切なのが、100%完璧な正しい英語を求めないことです。
幼児の特性というのは、細かいところはさておき、全体として音のかたまりとして英語を捉え
聞こえたままを雰囲気でも再現できるところです。

お子さんの発音や英語が正しくないと思った時は、リスニングの機会を増やしましょう。
出来ないところを注意するのでは無く、できているところをまずは褒めてあげて下さい。
7~8割言えるようになればそれでOKです。
完璧を求めると保護者さまにとって大きなストレスになりますし、
お子さまは英語嫌いになってしまいます。

CDの音源は1冊につき、4つのトラックが収録されています。
CDの最初から最後まですべてをかけ流すのと平行して
まずは絵本を開いてCDの2トラック目の朗読を聴きながら絵本を指さして楽しみましょう。
その後、CDの3、4トラック目を使ってお手本の後について言えるところから言ってみましょう。
「ほら、言ってごらん」ではなく、「一緒に言ってみよう」というスタンスが成功のカギ。
親子で交代に言うなど、徐々に一人で言う機会を増やしながら
CDの1トラック目で一緒に歌うのもすごく楽しいです。
最終的には一人で歌えるように、
そしてメロディなしでトラック2のようなスピードとリズムで暗唱できることを目指します。
ある程度言えるようになると歌うことが楽しくてお手本を聴かなくなりがちです。
トラック1で歌うことばかりになりがちですが、
お手本を聴く機会は大切なので、トラック3、4も活用してください。

最初はうまくいかないこともあるかもしれませんが、
気長に3ヶ月、半年ぐらい様子を見てくださいね。

取り組み方に関して、不安や心配があればいつでもお尋ねください。

